

# 眼窩内腫瘍

長崎大学医歯薬総合研究科  
展開医療科学講座  
脳神経外科学

松尾孝之



# 眼窩内腫瘍

眼窩原発腫瘍の種類(太字は当科で治療した腫瘍です)

## 良性腫瘍

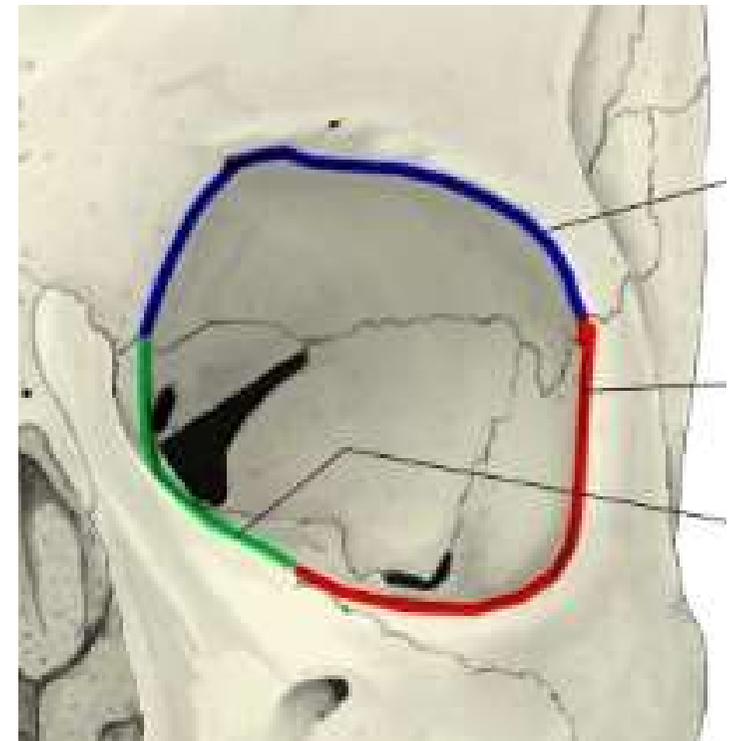
神経鞘腫、髄膜腫、神経線維腫、海綿状血管腫、涙腺腫瘍、視神経膠腫、類皮腫、孤立性線維性腫瘍、肉芽腫、偽腫瘍、類表皮腫、甲状腺眼症

## 悪性腫瘍

悪性リンパ腫、肉腫、転移性腫瘍

## 血管病変

リンパ管腫、静脈瘤



# 眼窩内腫瘍

## 眼窩内腫瘍の症状

### 自覚症状:

視力障害、視野障害、複視、眼痛、頭痛、羞明、流涙

### 他覚症状:

眼球突出、眼位異常、眼瞼下垂、眼瞼腫脹、



# 眼窩内腫瘍

## 診断

### 視機能検査

○視力、視野、眼球運動、眼球突出度測定

### 画像診断

MRIやCTが必須

○MRIは腫瘍の質を知るのに極めて有用(造影必要)

○CTは腫瘍の石灰化、眼窩壁の骨変化、骨浸潤を評価

### 視覚誘発電位

### 採血

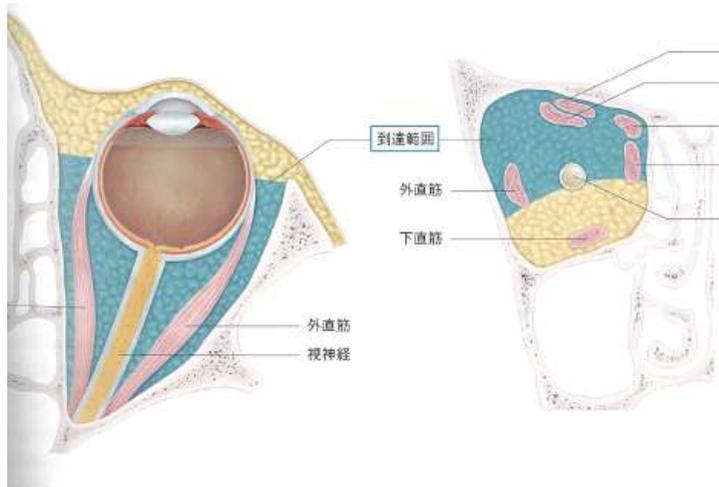
○甲状腺眼症の診断には、甲状腺ホルモンや甲状腺ホルモンレセプターに対する抗体価の測定



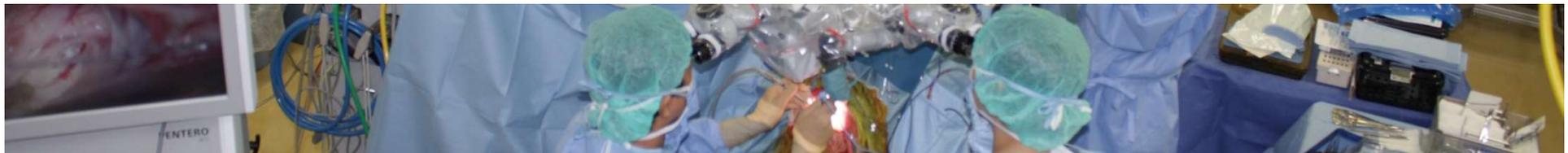
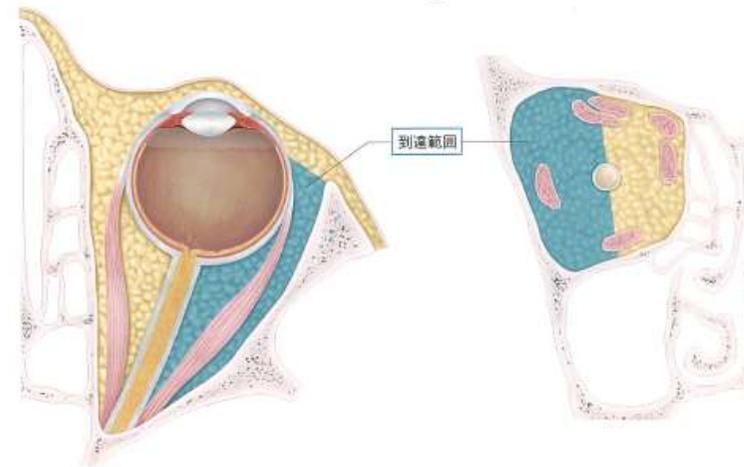
# 眼窩内腫瘍

## 脳外科的な手術アプローチ

### 経頭蓋到達法

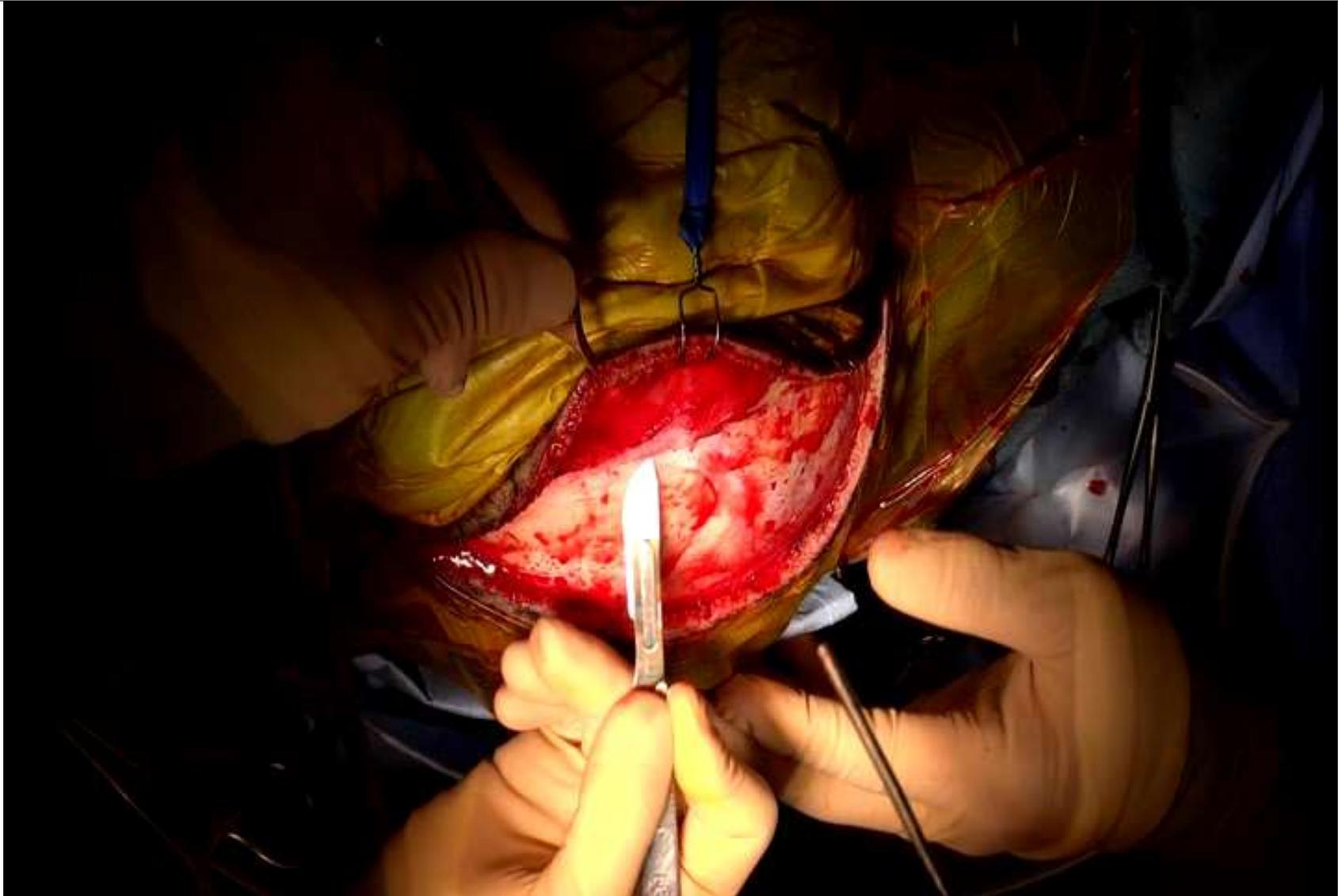


### 側方到達法



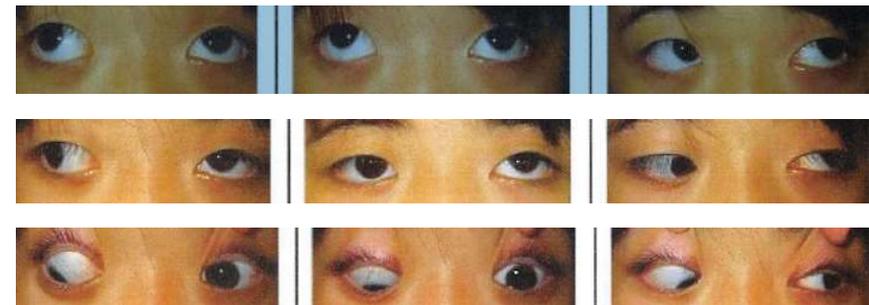
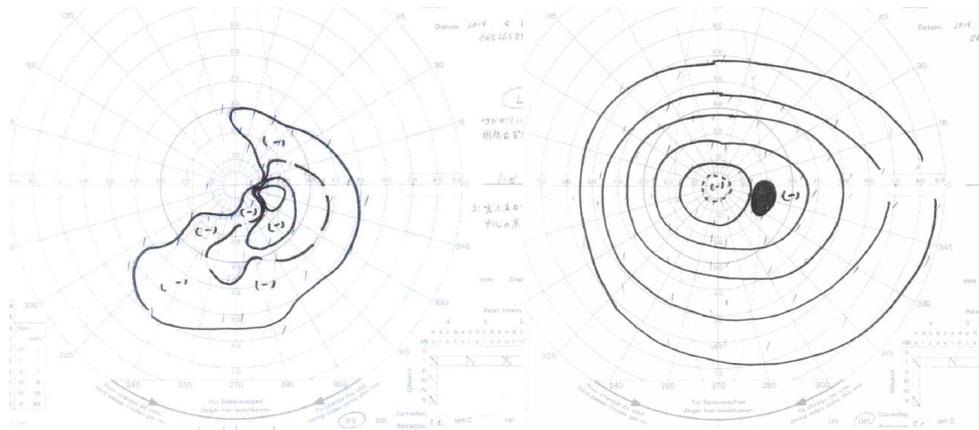
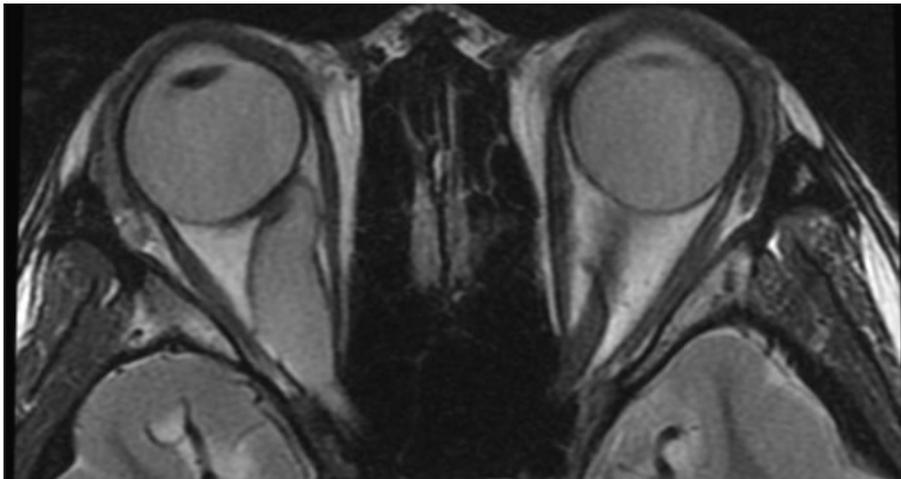
# 眼窩內腫瘍

## 開頭術



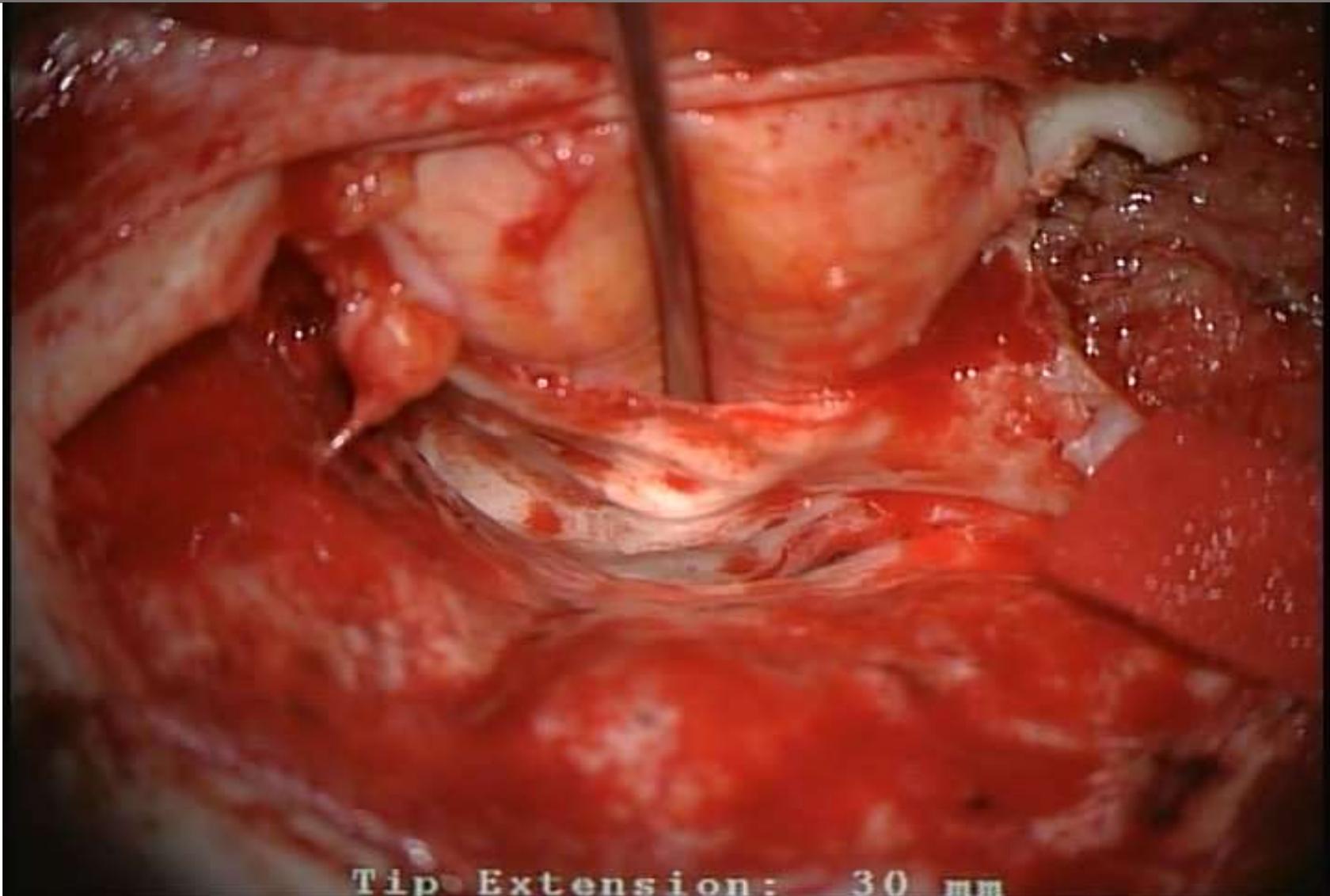
# 眼窩内腫瘍

## MRI



# 眼窩內腫瘍

Optic Glioma



# 眼窩内腫瘍

## Optic Glioma

1) 小児に多い腫瘍

2) 視神経，視交叉，視床下部，視索、内包，視放線と視路に腫瘍が浸潤発育する。

3) 手術対象になるのは一側視神経に限局したもの  
その他のものは化学療法が治療の主体となる。  
放射線治療の有用性は少ない。

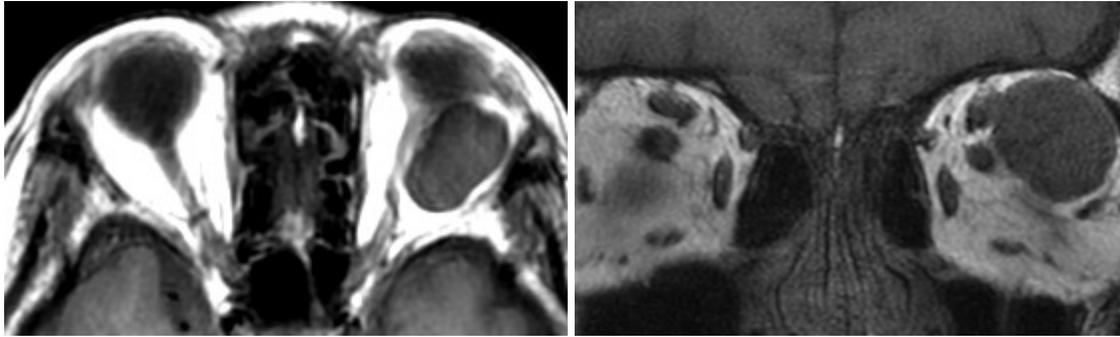
4) 児の成長とともに腫瘍は増大し、成人すると増大は落ち着き自然消退もある。



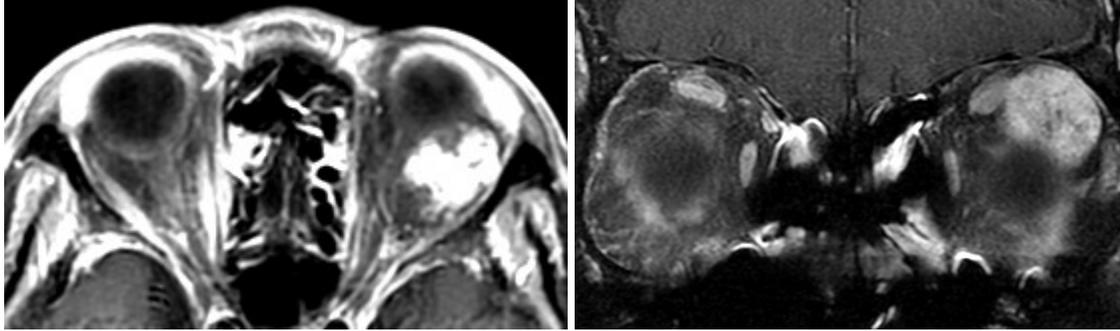
# 眼窩内腫瘍

## MRI

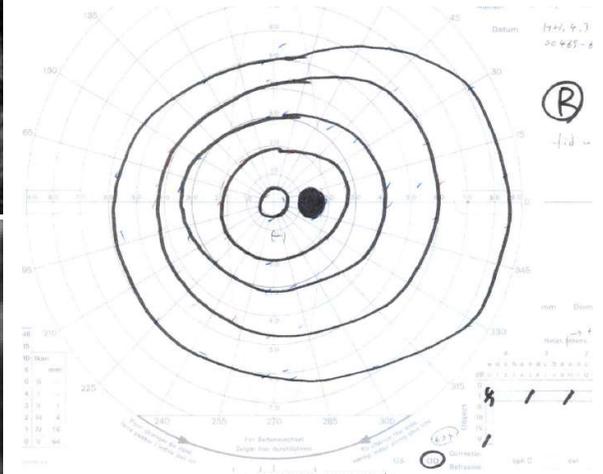
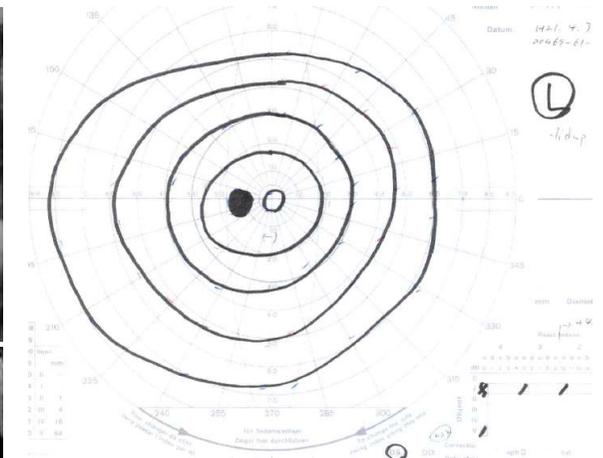
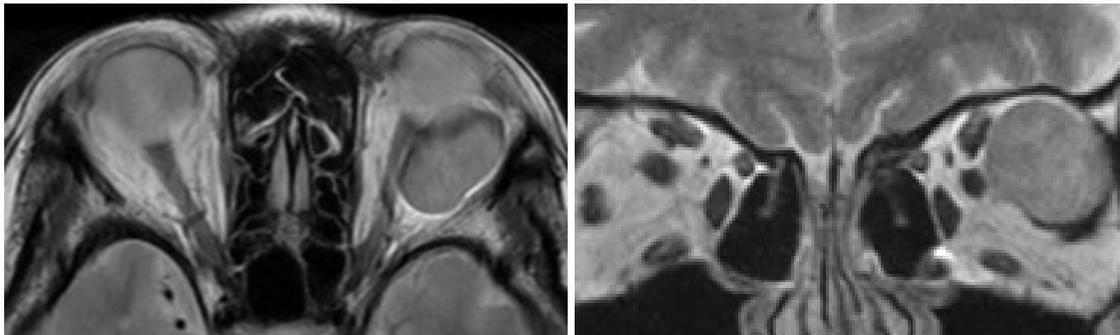
T1WI



T1Gd

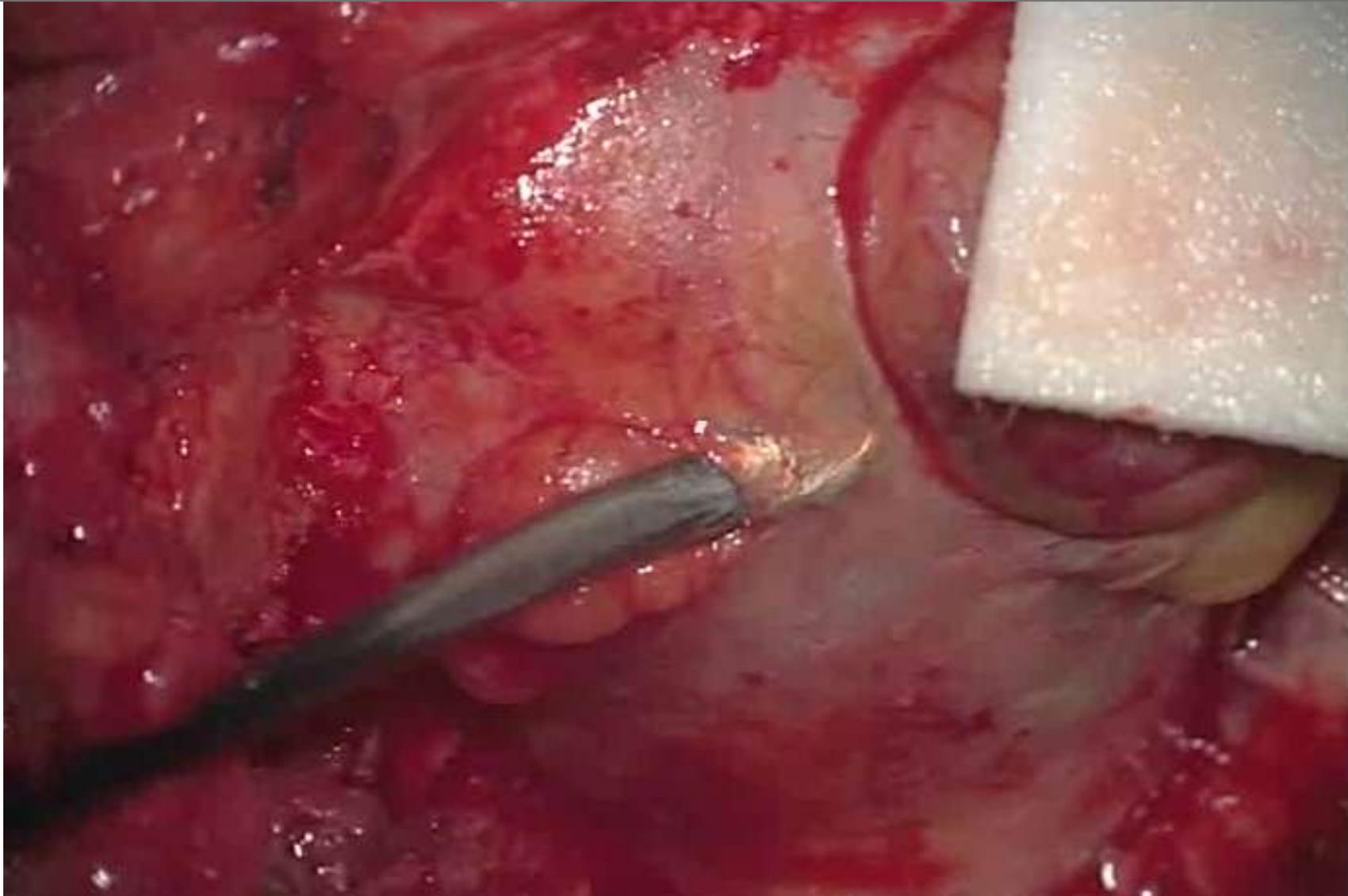


T2WI



# 眼窩內腫瘍

## 海綿狀血管腫



# 眼窩内腫瘍

## 海綿状血管腫

- 1) 眼窩内腫瘍の約4%を占め、脳神経外科医が遭遇する眼窩腫瘍のうち、最も頻度がたかいもの。
- 2) 症状は占拠性病変として生じるもの  
視力・視野障害、複視、眼球突出など
- 3) 腫瘍自体は緩徐に増大するが、時に急激な増大もあり
- 4) 眼窩脂肪に覆われ、皮膜を有する本血管腫は周囲組織との剥離が比較的容易で、一塊として摘出することが出来る。

